

宮崎県感染症週報

宮崎県薬務感染症対策課・宮崎県衛生環境研究所

令和8年第17週 (ARIのみ第16週) の発生動向

・水痘 (定点把握対象疾患)

第17週 (4/20~4/26) の県内定点当たりの報告数が1.0となり、流行注意報レベル基準値(1)以上となった。詳細後述。

□ 全数報告の感染症 (17週までに新たに届出のあったもの)

1類感染症：報告なし。2類感染症：結核5例。3類感染症：腸管出血性大腸菌感染症2例。
4類感染症：日本紅斑熱4例。5類感染症：百日咳3例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	宮崎市	5~9歳	女	肺結核	なし
			10歳代	男	肺結核	なし
			10歳代	女	肺結核	なし
			10歳代	女	肺結核	なし
		日向	60歳代	女	肺結核	なし
3類	腸管出血性大腸菌感染症	中央	0~4歳	女	無症状病原体保有者	なし、O111(VT1)
			20歳代	女	無症状病原体保有者	なし、O111(VT1)
4類	日本紅斑熱	宮崎市	70歳代	男	—	発熱、発疹、肝機能異常
			70歳代	女	—	発熱、頭痛、刺し口、発疹
			80歳代	男	—	発熱、発疹、DIC、肝機能異常
			80歳代	男	—	発熱、頭痛、刺し口、発疹、肝機能異常、その他
5類	百日咳	延岡	10歳代	女	—	持続する咳
			10歳代	男	—	持続する咳
		高鍋	0~4歳	男	—	持続する咳、夜間の咳き込み

□ 定点把握の対象となる5類感染症

・定点医療機関からの報告総数は392人(定点当たり26.2)で、前週比103%とほぼ横ばいであった。なお、前週に比べ増加した疾患は水痘、手足口病で、減少した主な疾患はRSウイルス感染症、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎であった。また、第16週の急性呼吸器感染症の報告総数は1,016人(定点当たり36.3)で、前週比107%と増加した。

【水痘】

報告数は15人(1.0)で、前週比150%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(0.59)の約1.7倍であった。年齢群別は4歳が全体の約3割を占めた。

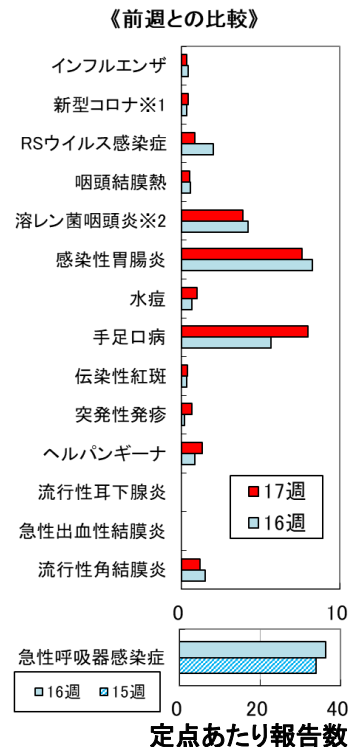
【手足口病】

報告数は120人(8.0)で、前週比141%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(2.8)の約2.8倍であった。年齢群別は6ヵ月から2歳が全体の約9割を占めた。

【感染性胃腸炎】

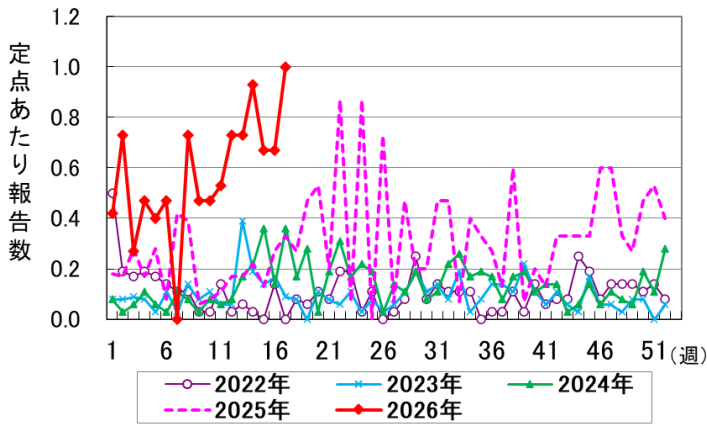
報告数は114人(7.6)で、前週比92%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値*(10.0)の約0.8倍であった。年齢群別は1歳から4歳が全体の約半数を占めた。

* 新型コロナウイルス感染症流行前5年間(2015-2019)の当該週、前週、後週(計15週)の平均値



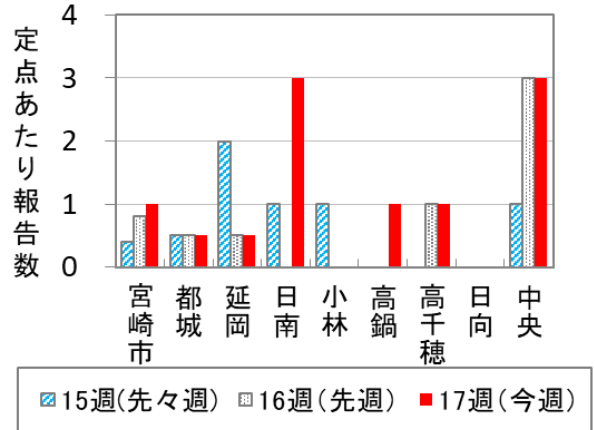
※1 新型コロナウイルス感染症
※2 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

水痘 発生状況

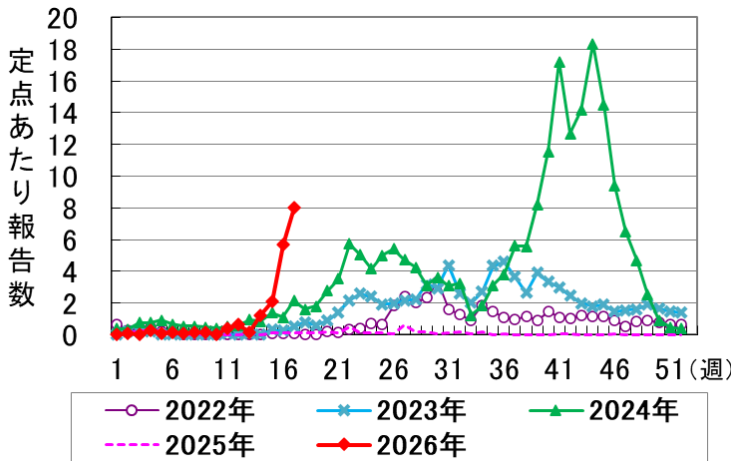


※2025年第15週からは定点医療機関数が36から15に変更

水痘 保健所別推移(3週分)

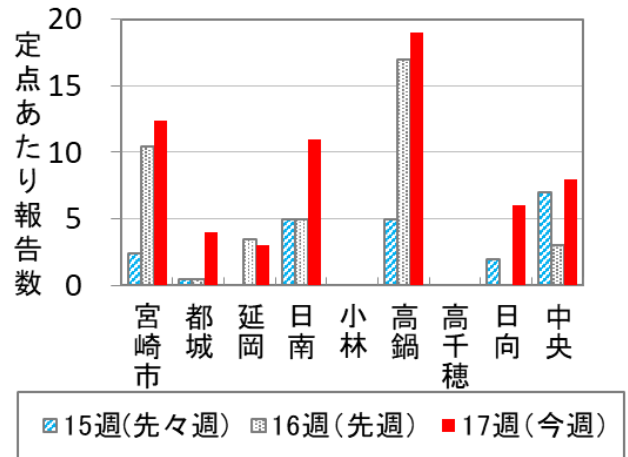


手足口病 発生状況

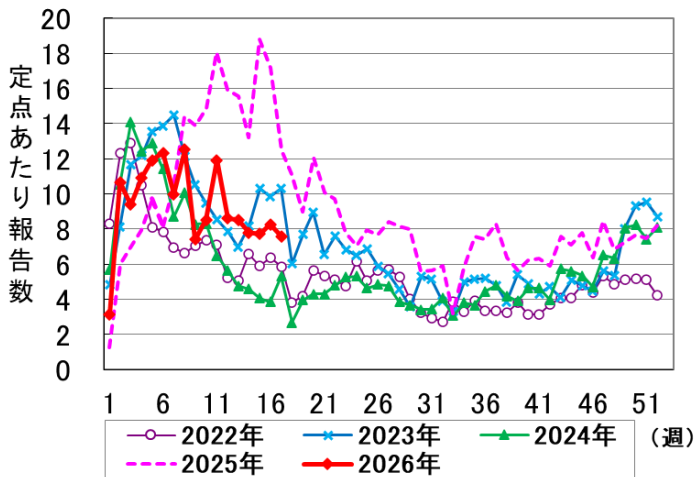


※2025年第15週からは定点医療機関数が36から15に変更

手足口病 保健所別推移(3週分)

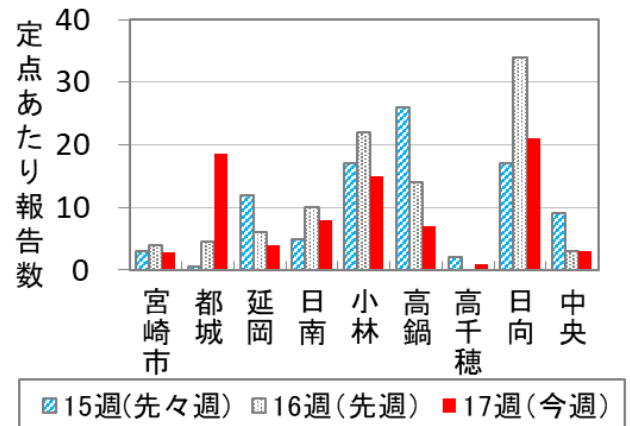


感染性胃腸炎 発生状況



※2025年第15週からは定点医療機関数が36から15に変更

感染性胃腸炎 保健所別推移(3週分)



★基幹定点からの報告★
報告なし

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患★

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患
宮崎市	水痘(1.0)、手足口病(12.4)
都城	なし
延岡	なし
日南	水痘(3.0)、手足口病(11.0)
小林	なし
高鍋	水痘(1.0)、手足口病(19.0)
高千穂	水痘(1.0)
日向	感染性胃腸炎(21.0)、手足口病(6.0)
中央	水痘(3.0)、手足口病(8.0)、ヘルパンギーナ(7.0)

※流行警報レベル開始基準値※

- ・感染性胃腸炎(20)
- ・水痘(2)
- ・手足口病(5)
- ・ヘルパンギーナ(6)

※流行注意報レベル基準値※

- ・水痘(1)

※流行警報レベル開始基準値、流行注意報レベル基準値は令和6年度まで運用した参考値です。

□病原体検出情報（衛生環境研究所微生物部）

★急性呼吸器感染症(Acute Respiratory Infection: ARI)
(2026年第16週:4月13日～4月19日搬入分)

検出病原体		検出数	
インフルエンザウイルス	A型	AH1pdm09	0
		AH3	0
	B型	ビクトリア系統	0
		山形系統	0
新型コロナウイルス		0	
RSウイルス	A型	0	
	B型	0	
パラインフルエンザウイルス	1型	1	
	2型	0	
	3型	0	
	4型	0	
ヒトメタニューモウイルス		0	
ライノウイルス		1	
エンテロウイルス		0	
アデノウイルス		0	
検出せず※2		10	
受付検体数		12	

○ 急性呼吸器感染症 (ARI) ※¹サーベイランス
検体について、急性呼吸器感染症サーベイ
ランス遺伝子検査マニュアルに従い、検査を実
施した。

※1 急性呼吸器感染症 (ARI) : 咳嗽、咽頭痛、
呼吸困難、鼻汁、鼻閉のいずれか 1 つ以上
の症状を呈し、発症から 10 日以内の急性
的な症状であり、かつ医師が感染症を疑う外来
症例

※2 左記のいずれのウイルスも検出されなかつ
た検体数を計上

(細菌・ウイルスについては 2026 年 4 月 27 日までに検出分)

★細菌

同定細菌名	年齢(歳)	性別	採取月日	臨床症状等	検出材料	同定日
EHEC (O111:HNM, VT1)	0～4歳	男	2026.04.13	水様性下痢、血便	便	2026.04.17
EHEC (O111:HNM, VT1)	0～4歳	女	2026.04.16	なし	便	2026.04.20
EHEC (O111:HNM, VT1)	20歳代	女	2026.04.20	なし	便	2026.04.23
EHEC (O111:HNM, VT1)	0～4歳	女	2026.04.19	なし	便	2026.04.23

○幼児3名及び20代1名から腸管出血性大腸菌 (EHEC O111:HNM VT1) が検出された。この感染症は、EHEC に汚染された飲食物や病原体保有者の糞便で汚染されたものに触れた手指を介して感染することから、家族や保育施設等で感染が広がりやすい。感染防止のため、食事前、排便後及び下痢をしている子ども等の世話をした後は、石けんと流水で手洗いを行うことが重要である。

★ウイルス

同定ウイルス名	年齢	性別	採取年月日	臨床症状等	検出材料	分離・検出日
Influenza virus B (Victoria Lineage)*	20歳代	女	2026.03.03	インフルエンザB、39.0℃、気管支炎	鼻腔ぬぐい液	2026.04.21
Influenza virus B (Victoria Lineage)*	10歳代	男	2026.03.03	インフルエンザB、39.0℃、気管支炎、頭痛	鼻腔ぬぐい液	2026.04.21
Influenza virus B (Victoria Lineage)*	40歳代	男	2026.03.10	インフルエンザB、38.4℃、咳、痰	鼻腔ぬぐい液	2026.04.21
Influenza virus B (Victoria Lineage)*	10歳代	男	2026.03.09	インフルエンザB、39.2℃	鼻汁	2026.04.21
Influenza virus B (Victoria Lineage)*	10歳代	女	2026.03.10	インフルエンザB、39.3℃、関節痛、筋肉痛、咽頭痛	鼻腔ぬぐい液	2026.04.21
Influenza virus A H3 *	10歳代	男	2026.03.24	インフルエンザA、39.5℃、咽頭痛、気管支炎	鼻腔ぬぐい液	2026.04.21
Influenza virus B (Victoria Lineage)*	30歳代	女	2026.03.31	インフルエンザB、38.5℃、頭痛、咽頭痛、気管支炎	鼻腔ぬぐい液	2026.04.21

※ ARI 病原体定点から検出されたウイルスのうち、分離されたウイルスも再掲

🇯🇵 全国 2026 年第 16 週の発生動向

□ 全数報告の感染症

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	249 例				
3類感染症	細菌性赤痢	1 例	腸管出血性大腸菌感染症	70 例		
4類感染症	E型肝炎	14 例	A型肝炎	3 例	エムボックス	2 例
	重症熱性血小板減少症候群	5 例	つつが虫病	1 例	日本紅斑熱	2 例
	レジオネラ症	32 例				
5類感染症	アメーバ赤痢	6 例	ウイルス性肝炎	3 例	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	7 例
	急性脳炎	2 例	クリプトスポリジウム症	1 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	7 例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	20 例	後天性免疫不全症候群	11 例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	6 例
	侵襲性髄膜炎菌感染症	2 例	侵襲性肺炎球菌感染症	52 例	水痘(入院例)	12 例
	多剤耐性緑膿菌感染症	8 例	梅毒	198 例	播種性クリプトコックス症	5 例
	破傷風	3 例	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	2 例	百日咳	90 例
	麻しん	57 例				

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 108%と増加した。なお、前週と比較して増加した主な疾患はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎で、減少した主な疾患はインフルエンザであった。また、急性呼吸器感染症の報告数は前週比 115%と増加した。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の報告数は 6,673 人(3.0)で前週比 130%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(2.6)の約 1.1 倍であった。鳥取県(7.1)、佐賀県(6.8)、愛媛(6.4)からの報告が多く、年齢群別では 3 歳から 7 歳が全体の約 6 割を占めた。

感染性胃腸炎の報告数は 11,424 人(5.1)で前週比 110%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(6.5)の約 0.8 倍であった。岐阜県(11.7)、島根県(11.0)、愛媛県(9.4)からの報告が多く、年齢群別では 1 歳から 2 歳が全体の約 3 割を占めた。

* 新型コロナウイルス感染症流行前 5 年間(2015—2019)の当該週、前週、後週(計 15 週)の平均値

宮崎県 感染症情報

(41定点医療機関)

2026年 第17週(04月20日～04月26日)

疾病名		第16週	第17週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	12	9	2		1			3			3
	定点当り	0.43	0.32	0.22	0.00	0.33	0.00	0.00	1.50	0.00	0.00	1.50
新型コロナウイルス感染症	報告数	9	12	4	1	5				1		1
	定点当り	0.32	0.43	0.44	0.25	1.67	0.00	0.00	0.00	0.50	0.00	0.50
RSウイルス感染症	報告数	30	13	3	1	5			1		3	
	定点当り	2.00	0.87	0.60	0.50	2.50	0.00	0.00	1.00	0.00	3.00	0.00
咽頭結膜熱	報告数	9	8	4	1		1				2	
	定点当り	0.60	0.53	0.80	0.50	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00	2.00	0.00
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	63	58	31	11	3	4		3		1	5
	定点当り	4.20	3.87	6.20	5.50	1.50	4.00	0.00	3.00	0.00	1.00	5.00
感染性胃腸炎	報告数	124	114	14	37	8	8	15	7	1	21	3
	定点当り	8.27	7.60	2.80	18.50	4.00	8.00	15.00	7.00	1.00	21.00	3.00
水痘	報告数	10	15	5	1	1	3		1	1		3
	定点当り	0.67	1.00	1.00	0.50	0.50	3.00	0.00	1.00	1.00	0.00	3.00
手足口病	報告数	85	120	62	8	6	11		19		6	8
	定点当り	5.67	8.00	12.40	4.00	3.00	11.00	0.00	19.00	0.00	6.00	8.00
伝染性紅斑	報告数	5	6	3			1		1		1	
	定点当り	0.33	0.40	0.60	0.00	0.00	1.00	0.00	1.00	0.00	1.00	0.00
突発性発しん	報告数	3	10	4		3		1			1	1
	定点当り	0.20	0.67	0.80	0.00	1.50	0.00	1.00	0.00	0.00	1.00	1.00
ヘルパンギーナ	報告数	13	20	9	2	2						7
	定点当り	0.87	1.33	1.80	1.00	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	7.00
流行性耳下腺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性角結膜炎	報告数	9	7	3		4						
	定点当り	1.50	1.17	1.00	0.00	4.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
マイコプラズマ肺炎	報告数	2										
	定点当り	0.29	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
クラミジア肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

2026年 第16週(04月13日～04月19日)

		第15週	第16週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
急性呼吸器感染症	報告数	949	1016	270	118	123	65	92	106	40	119	83
	定点当り	33.89	36.29	30.00	29.50	41.00	32.50	46.00	53.00	20.00	59.50	41.50

ARI定点:28、小児科定点:15(ARI定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

●全数把握対象疾患累積報告数(2026年 第01週～17週 保健所受理分)

2類感染症	結核	46例(5)										
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	12例(2)										
4類感染症	A型肝炎	1例	つつが虫病	4例				日本紅斑熱	5例(4)			
	レジオネラ症	2例										
5類感染症	アメーバ赤痢	1例	クリプトスポリジウム症	1例				劇症型溶血性レンサ球菌感染症	4例			
	後天性免疫不全症候群	1例	侵襲性肺炎球菌感染症	5例				水痘(入院例)	4例			
	梅毒	18例	播種性クリプトコックス症	2例				破傷風	1例			
	百日咳	32例(3)	麻疹	1例								

()内は今週届出分、再掲